



2021年9月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年10月26日

上場会社名 株式会社マクアケ 上場取引所 東
 コード番号 4479 URL <http://www.makuake.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 亮太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 田村 祐樹 TEL 03-6328-4038
 定時株主総会開催予定日 2021年12月9日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年12月10日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2021年9月期の業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

（1）経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	4,621	43.3	329	△35.5	326	△36.3	246	△33.3
2020年9月期	3,225	139.9	510	308.5	512	302.2	369	315.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	20.44	19.58	5.2	4.0	7.1
2020年9月期	33.03	30.88	25.1	13.5	15.8

（参考）持分法投資損益 2021年9月期 —百万円 2020年9月期 —百万円

（注）2020年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は2019年12月11日に東京証券取引所マザーズに上場したため、新規上場日から当事業年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	10,331	6,873	66.2	551.56
2020年9月期	6,173	2,673	43.1	228.20

（参考）自己資本 2021年9月期 6,841百万円 2020年9月期 2,662百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	151	△586	3,915	8,591
2020年9月期	2,564	△247	1,913	5,109

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2022年9月期の業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	34.2	465	41.3	460	41.1	350	41.9	28.22

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年9月期	12,404,700株	2020年9月期	11,667,700株
2021年9月期	87株	2020年9月期	24株
2021年9月期	12,068,819株	2020年9月期	11,190,361株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(重要な会計上の見積り)	10
(表示方法の変更)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、「生まれるべきものが生まれ、広がるべきものが広がり、残るべきものが残る世界の実現」というビジョンのもと、「世界をつなぎ、アタラシイを創る」をミッションに掲げ、世にない新しいものを提供するプロジェクト実行者（事業者）と新しいものや体験を作り手の思いや背景を知った上で応援の気持ちを込めて購入（=応援購入）するサポーター（消費者）をつなぐ、プラットフォームMakuakeを運営しております。

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの変異株の出現により感染症が再び拡大し、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が一部地域に発令される中、国内外のワクチン接種の促進により経済の持ち直しが見えつつも、引き続き個人消費、企業収益、雇用情勢等は弱い動きとなり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当事業は新商品デビューにおけるEコマース市場、新サービスにおける予約販売Eコマース市場等の影響を受けておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大によって変化したライフスタイルやワークスタイルにより当該市場への需要が非常に高まり、成長が続いております。

このような状況のもと、当事業年度は新型コロナウイルス感染症による需要拡大で急増した掲載開始数及びアクセスユニークユーザー数に対し、より一層高い品質保証体制にて対応するため、戦略的に守りを強化し、組織体制の整備を行いました。また、新規実行者の獲得や新規ユニークユーザーの流入、レポート応援購入の促進を目的としたテレビ広告やWEB広告、アプリ広告に積極的な先行投資を続けることでMakuakeの認知度向上はもちろん継続的な掲載開始数の増加、アクセスユニークユーザー数の増加が進み、応援購入総額が前年同期比46.9%増の21,536,980千円となりました。

一方、業績が急拡大する中で掲載開始数が想定以上に伸びたことによりプロジェクト実行者にコンサルティング支援を行うキュレーター本部の人材及びプロジェクトの実現性を審査する品質保証本部の人材不足が続きましたが、第4四半期会計期間において採用計画の見直し及び前倒しにより人材確保を迅速に進めると同時に組織体制の再整備を図り、最適化された組織体制の準備を整えました。

その結果、当社の当事業年度における売上高は4,621,419千円（前年同期比43.3%増）、営業利益は329,101千円（同35.5%減）、経常利益は326,089千円（同36.3%減）、当期純利益は246,642千円（同33.3%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の総資産は、前事業年度末と比べ4,158,100千円増加し、10,331,547千円となりました。

流動資産は3,621,724千円増加し、9,269,563千円となりました。主たる要因は、現金及び預金が3,188,338千円増加したことによるものであります。

固定資産は528,320千円増加し、1,041,587千円となりました。主たる要因は、投資その他の資産が294,755千円増加したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末の負債は、前事業年度末に比べ42,215千円減少し、3,458,214千円となりました。

流動負債は56,732千円減少し、3,415,360千円となりました。主たる要因は、未払金が213,892千円減少したことによるものであります。

固定負債は14,517千円増加し、42,853千円となりました。これは、勤続インセンティブ引当金が14,180千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末の純資産は、前事業年度末に比べ4,200,315千円増加し、6,873,332千円となりました。これは、海外募集による新株式を発行したこと等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,966,540千円、当期純利益の計上に伴い利益剰余金が246,642千円増加したこと等によるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は8,591,254千円となり、前期と比べ3,480,092千円の増加となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は151,414千円（前年同期は増加した資金2,564,340千円）となりました。これは主に、税引前当期純利益326,089千円、預り金の増加額306,858千円、未払金の減少額216,487千円、法人税等の支払額214,897千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は586,413千円（前年同期は減少した資金247,561千円）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出306,265千円、投資有価証券の取得による支出148,731千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、増加した資金は3,915,091千円（前年同期は増加した資金1,913,232千円）となりました。これは主に、株式の発行による収入3,915,475千円によるものであります。

（4）今後の見通し

次期の業績見通しについて、売上高は当期比34.2%増の62.0億円を見込んでおります。営業利益は4.6億円、経常利益4.6億円、当期純利益3.5億円を見込んでおります。中間業績の見通しにつきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症による国内外の影響が不透明であることから開示しておりません。

また、上記の業績見通しは、現時点において入手可能な情報等を前提として策定しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（5）継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当事業年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,761,604	5,949,943
プロジェクト預り用預金	2,347,747	2,641,311
売掛金	530,318	551,330
前払費用	12,721	79,585
その他	2,443	54,674
貸倒引当金	△6,996	△7,282
流動資産合計	5,647,838	9,269,563
固定資産		
有形固定資産		
建物	38,404	39,169
減価償却累計額	△6,849	△10,649
建物(純額)	31,554	28,520
工具、器具及び備品	25,886	32,236
減価償却累計額	△10,471	△17,636
工具、器具及び備品(純額)	15,414	14,599
有形固定資産合計	46,969	43,119
無形固定資産		
のれん	-	17,333
ソフトウェア	291,441	410,908
ソフトウェア仮勘定	65,017	165,632
無形固定資産合計	356,458	593,873
投資その他の資産		
投資有価証券	10,001	138,733
敷金及び保証金	63,919	192,351
繰延税金資産	35,918	73,508
その他	7,537	7,537
貸倒引当金	△7,537	△7,537
投資その他の資産合計	109,839	404,594
固定資産合計	513,267	1,041,587
繰延資産		
株式交付費	12,340	20,396
繰延資産合計	12,340	20,396
資産合計	6,173,446	10,331,547

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当事業年度 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	793,421	579,528
未払費用	77,819	61,288
未払法人税等	155,480	72,286
預り金	2,345,603	2,652,462
その他	99,767	49,795
流動負債合計	3,472,093	3,415,360
固定負債		
退職給付引当金	-	337
勤続インセンティブ引当金	28,336	42,516
固定負債合計	28,336	42,853
負債合計	3,500,429	3,458,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,847	3,103,387
資本剰余金		
資本準備金	1,136,847	3,103,387
資本剰余金合計	1,136,847	3,103,387
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	388,949	635,591
利益剰余金合計	388,949	635,591
自己株式	△115	△499
株主資本合計	2,662,529	6,841,867
新株予約権	10,488	31,464
純資産合計	2,673,017	6,873,332
負債純資産合計	6,173,446	10,331,547

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	3,225,281	4,621,419
売上原価	568,845	815,518
売上総利益	2,656,435	3,805,900
販売費及び一般管理費	2,146,185	3,476,799
営業利益	510,249	329,101
営業外収益		
受取利息	-	0
講演料等収入	4,707	7,645
助成金収入	2,225	-
その他	858	606
営業外収益合計	7,790	8,252
営業外費用		
支払利息	111	-
株式交付費償却	4,515	9,549
固定資産除却損	1,359	1,447
その他	-	266
営業外費用合計	5,985	11,264
経常利益	512,054	326,089
税引前当期純利益	512,054	326,089
法人税、住民税及び事業税	157,676	117,038
法人税等調整額	△15,291	△37,590
法人税等合計	142,384	79,447
当期純利益	369,670	246,642

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本						新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式			株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	132,995	132,995	132,995	19,279	19,279	-	285,270	-	285,270
当期変動額									
新株の発行	970,892	970,892	970,892				1,941,784		1,941,784
新株の発行 (新株予約権の行使)	32,960	32,960	32,960				65,920		65,920
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)									
自己株式の取得						△115	△115		△115
当期純利益				369,670	369,670		369,670		369,670
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								10,488	10,488
当期変動額合計	1,003,852	1,003,852	1,003,852	369,670	369,670	△115	2,377,259	10,488	2,387,747
当期末残高	1,136,847	1,136,847	1,136,847	388,949	388,949	△115	2,662,529	10,488	2,673,017

当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本						新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式			株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	1,136,847	1,136,847	1,136,847	388,949	388,949	△115	2,662,529	10,488	2,673,017
当期変動額									
新株の発行	1,937,793	1,937,793	1,937,793				3,875,585		3,875,585
新株の発行 (新株予約権の行使)	24,308	24,308	24,308				48,616		48,616
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)	4,440	4,440	4,440				8,880		8,880
自己株式の取得						△384	△384		△384
当期純利益				246,642	246,642		246,642		246,642
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								20,976	20,976
当期変動額合計	1,966,540	1,966,540	1,966,540	246,642	246,642	△384	4,179,338	20,976	4,200,315
当期末残高	3,103,387	3,103,387	3,103,387	635,591	635,591	△499	6,841,867	31,464	6,873,332

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	512,054	326,089
減価償却費	65,409	99,305
のれん償却額	-	2,666
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,426	285
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	-	337
勤続インセンティブ引当金の増減額 (△は減少)	13,078	14,180
支払利息	111	-
株式交付費償却	4,515	9,549
売上債権の増減額 (△は増加)	△335,624	△21,011
未払金の増減額 (△は減少)	663,177	△216,487
未払費用の増減額 (△は減少)	28,000	△16,531
預り金の増減額 (△は減少)	1,544,786	306,858
未払消費税等の増減額 (△は減少)	92,017	△49,972
その他	20,756	△89,106
小計	2,611,710	366,163
利息の支払額	△97	-
法人税等の還付額	-	148
法人税等の支払額	△47,272	△214,897
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,564,340	151,414
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,736	△7,114
無形固定資産の取得による支出	△213,397	△306,265
投資有価証券の取得による支出	△10,001	△148,731
敷金及び保証金の差入による支出	△17,426	△124,301
投資活動によるキャッシュ・フロー	△247,561	△586,413
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	1,990,848	3,915,475
短期借入金の返済による支出	△50,000	-
長期借入金の返済による支出	△27,500	-
自己株式の取得による支出	△115	△384
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,913,232	3,915,091
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,230,011	3,480,092
現金及び現金同等物の期首残高	879,340	5,109,351
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	1,810
現金及び現金同等物の期末残高	5,109,351	8,591,254

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響については、依然として不透明な状況が続いておりますが、当社の事業環境は概ね正常化しており、現時点においては重要な影響はないものと判断して会計上の見積りを行っております。当該見積りの具体的な内容については、下記の通りです。

なお、同感染症による影響は不確実性が高く、今後の拡大状況によっては、翌事業年度の当社の財政状態、経営成績等に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(1) 当事業年度の計算書類に計上した金額

繰延税金資産	73,508 千円
--------	-----------

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

当社は繰延税金資産について、将来事業年度の課税所得を合理的に見積り、回収可能性を判断した上で計上を行っております。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響を含めた今後の経営環境の変化等によっては、翌事業年度において、当該将来事業年度の課税所得の見積り及び繰延税金資産の計上額が変動する可能性があります。

(表示方法の変更)

【貸借対照表】

前事業年度において、「流動資産」の「現金及び預金」に含めていたMakuakeサービスに係るプロジェクト実行者に対する「プロジェクト預り用預金」については、金額的重要性が増したことで、および明瞭性を高めるため、当事業年度より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「現金及び預金」に表示していた5,109,351千円は、「流動資産」の「現金及び預金」2,761,604千円、「プロジェクト預り用預金」2,347,747千円として組み替えております。

前事業年度において、独立掲記していた「未払消費税等」は金額的重要性が乏しくなったため、当事業年度より「流動負債」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動負債」の「未払消費税等」に表示していた49,795千円は、「流動負債」の「その他」として組み替えております。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、応援購入サービス事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	228.20円	551.56円
1株当たり当期純利益	33.03円	20.44円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	30.88円	19.58円

（注）1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は2019年12月11日に東京証券取引所マザーズに上場したため、新規上場日から前事業年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純利益	33.03	20.44
当期純利益（千円）	369,670	246,642
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	369,670	246,642
普通株式の期中平均株式数（株）	11,190,361	12,068,819
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	30.88	19.58
当期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加数（株）	781,284	527,163
（うち新株予約権（株））	(781,284)	(527,163)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

（重要な後発事象）

該当事項はありません。